

令和6年度 札幌市立平岡中学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：35503

「学ぶ力」	
これまでの 成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ◇学習に関するアンケートより肯定的な回答が多い設問 <ul style="list-style-type: none"> ・人の意見を聞いて、それを参考にして自分の考えを見直すことがある。 ◇ICTに関するアンケートより肯定的な回答が多い設問 <ul style="list-style-type: none"> ・疑問や課題を解決するために、端末を使って自分なりに調べようとしている。 ◇校内研修の実施により、「主体的に学習に取り組む態度」を観点とした授業実践の交流 	<ul style="list-style-type: none"> ◇学校評価アンケートより課題が見られる設問 <ul style="list-style-type: none"> ・各評価が子どもの学習改善につながっていると思う。 ◇学習に関するアンケートより課題が見られる設問 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を進んで発言しようとしている。 ◇令和5年度の全国学力状況調査より、「全国平均より下回っている」という結果が多く見られた。
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く相互承認の感度〉の現状と課題	
<p>各アンケートの項目より、「人のよいところを見付けようとしている」「人の役に立ててうれしいと感じる」「端末を使う活動で、友達の意見を進んで知ろうとしている」等の相互承認に関する設問ではかなり高い割合で肯定的な回答が多かった。学校行事の充実や協働学習の導入等は、互いを認め合う場としては効果的であると推察することができ、今後も引き続き実践していくことが必要とされる。</p>	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

主体的に学ぶ力、他者と協働して解決する力

	AARサイクルの視点で捉え直した 課題探究的な学習の推進	さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」に基づく 自治的な活動の充実
取組	<ul style="list-style-type: none"> ◇研究主題「生徒が主体的に輝く教育実践」 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の変容を確認できるような教材やアプローチによるイントロダクションの充実 ・自らの変容を可視化できるようなツールの導入によるリフレクションの実践 ◇実践交流 <ul style="list-style-type: none"> ・見通し、興味・関心の工夫 ・ICTの積極的な導入 ・学び合い、話し合いの方法やルールなどの工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ◇生徒を育てるから育つへの視点 <ul style="list-style-type: none"> ～互いを大切にし、個性を認め合う活動の充実～ ・学活や特別活動での話し合い活動等の工夫と充実 ・SSTやSGEの実施 ◇生徒たちが行動に責任をもち、意思が実現するような活動 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動の活性化 ・学校行事の更なる充実

〈本プログラムの実行に向けて〉

